

## USPTO、優先審査（Track One）申請の年間受理件数の引き上げを公表

2025 年 7 月 8 日  
JETRO NY 知的財産部  
蛭田、赤木

USPTO は、7 月 8 日付の官報<sup>1</sup>で、優先審査（Track One）申請の年間受理件数を引き上げる旨を公表した。これまで特許出願に係る優先審査申請の受理は 15,000 件／年に制限されていたところ、2025 年度からはそれが 20,000 件／年まで引き上げられることとなる。

USPTO では特許審査官数の減少もあり審査期間の長期化が課題となっており、2025 年 5 月時点で特許出願の一次審査通知期間（FA 期間）は、平均で 23.4 カ月となっていた（下表参照）。

USPTO における特許出願の平均 FA 期間（2025 年）<sup>2</sup>

| 時期         | 特許出願の FA 期間 |
|------------|-------------|
| 2025 年 1 月 | 20.5 カ月     |
| 2025 年 2 月 | 21.3 カ月     |
| 2025 年 3 月 | 22.5 カ月     |
| 2025 年 4 月 | 23.2 カ月     |
| 2025 年 5 月 | 23.4 カ月     |

優先審査制度の活用により、出願人は早期の権利化を図ることが可能となる。USPTO によると、2025 年度、出願人は優先審査申請の受理から平均 1.3 カ月で一次審査結果を、平均 4.5 カ月で最終審査結果を得ることができている<sup>3</sup>。

USPTO では、7 月 10 日から特許出願の早期審査申請の一部受付停止が予定されており<sup>4</sup>、本優先審査制度はその代替として機能することが想定されている。2025 年度における優先審査の申請件数は 2024 年 10 月から 2025 年 5 月までに 10,921 件を数えていた<sup>5</sup>。

なお、本上限の引き上げは、新たな通知により更新されない限り、2025 年度以降についても同様に適用される。USPTO ではこれまで凍結されていた審査官の新規採用が 6 月から再開されていることもあり<sup>6</sup>、今後の審査処理動向が注目される。

（以上）

<sup>1</sup> 2025 Increase of the Annual Limit on Accepted Requests for Prioritized Examination

<sup>2</sup> USPTO ウェブサイト” Patents data at a glance May 2025” 参照。

<sup>3</sup> USPTO ウェブサイト” Patent Track One Data May 2025” 参照。

<sup>4</sup> [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Ipnnews/us/2025/20250612.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnnews/us/2025/20250612.pdf)

<sup>5</sup> USPTO ウェブサイト” Patent Track One Data May 2025” 参照。

<sup>6</sup> <https://uspto.usajobs.gov/search/results/?a=CM56&s=relevance&sd=asc&p=1>